科目名 Course Name	高齢者福祉Ⅱ Aged-welfareⅡ			ナンバリング No.	I2-002		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。</p> <p>②高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>高齢者関連法規の目的と概要、活用について学ぶ。</p> <p>高齢者支援の事例等を使って、体感し、地域包括ケアにおける社会福祉士の役割を考える。</p> <p>【授業終了時の達成課題(到達目標)】</p> <p>①高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて説明できる。</p> <p>②高齢者を支援する職種の理解と支援ともなう専門職のかかわりや連携について説明できる。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料と C-Learning にリアクションを入力させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	高齢者の関連法規の目的と概要を説明できる。					
	L03	専門職の役割理解、具体的なサービス提供、権利擁護、終末期の支援のあり方を捉えることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:『高齢者福祉』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編/中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			70	
その他					
合計			30	70	

	回数	授業計画
1	授業内容	高齢者に対する法制度(高齢者の医療の確保に関する法律の概要)
	事前・事後学習	事前:後期該当部分のテキスト目次を通読しておく 事後:シラバスを読んでおく 資料の確認
2	授業内容	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律①(法の概要)
	事前・事後学習	事前:高齢者虐待ケースを調べる 事後:高齢者虐待が起こる背景課題についてまとめておく
3	授業内容	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律②(高齢者虐待の未然防止、通報義務、早期発見)
	事前・事後学習	事前:高齢者虐待防止法第1条、第2条を読む 事後:授業プリントを使って法第1条、第2条を確認する
4	授業内容	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律③
	事前・事後学習	事前:高齢者虐待防止法3～5条を読む 事後:授業プリントを使って法第3～5条を確認する
5	授業内容	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(概要、施設設置管理者等の責務)、高齢者等の雇用の安定等に関する法律
	事前・事後学習	事前:高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律1～3条を読む 事後:授業プリントを使って法第1～3条を確認する
6	授業内容	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割
	事前・事後学習	事前:配布事例のなかから機関と専門職を抜き出す 事後:各種機関と専門職の説明ができるように復習する
7	授業内容	高齢者住まい確保法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、バリアフリー法
	事前・事後学習	事前:高齢者にとって必要な住まいのあり方を考えておく 事後:高齢者の住まいを安定的に確保するため策を考える
8	授業内容	認知症の理解①
	事前・事後学習	事前:身近で聞いたことのある認知症のエピソードをまとめておく 事後:配布プリントを埋めておく
	授業内容	認知症の理解② 育児・介護休業法
	事前・事後学習	事前:育児・休業法1条～4条を読んでおく 事後:配布プリントを埋めておく
10	授業内容	認知症の理解③芸術療法の実際～臨床美術体験(外部講師:小橋操氏 臨床美術士)
	事前・事後学習	事前:芸術療法について調べておく 事後:作品講評
11	授業内容	高齢者と家族等に対する支援における関係機関と専門職の役割①
	事前・事後学習	事前:終末期について配布資料を読んでおく 事後:授業プリントの補足部分を記入しておく
12	授業内容	高齢者と家族等に対する支援における関係機関と専門職の役割②(高齢者と家族等に対する支援の実際、多職種連携を含む)
	事前・事後学習	事前:高齢者と家族支援の事例を読んでおく 事後:授業プリントの補足部分を記入し、考えをまとめておく
13	授業内容	高齢者と家族等に対する支援の実際①(高齢者の就労に対する支援)
	事前・事後学習	事前:高齢者雇用安定法のおさらいをしておく 事後:高齢者の就労における課題をまとめておく
14	授業内容	高齢者と家族等に対する支援の実際②(地域包括ケアシステムにおける認知症高齢者支援)
	事前・事後学習	事前:地域包括ケアシステムに関する事前配布資料を読んでおく 事後:高齢者と家族支援に関する事例問題を解く
15	授業内容	高齢者と家族等に対する支援の実際③(介護予防における支援)
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する

		事後:試験勉強
--	--	---------